

校長室から

第2号

「朝日に映えてそびえ立つ 札滑岳の雄々しさよ」～その2～

11月6日「本校児童と老人クラブの皆さんとの交流会」の際に、ある方から「私たちが歌っていた校歌の歌詞と、現在の校歌の歌詞が違っている」とのご指摘をいただきました。

校歌1番の「朝日に映えてそびえ立つ 札滑岳の雄々しさよ」の部分の疑問は解けたのですが、この時点で、校歌がいつ制定されたかは定かではありません。まず、この疑問を解かなければ、前に進みません。そのためには学校沿革史以外の資料を捜す必要があります。

筆者は勇気をだして、何年間か誰も触れたことがないであろう、校長室の金庫の中段奥に積まれている古文書の山に挑んだのです。主なものは卒業証書台帳、児童成績簿（現在の指導要録）、職員人事記録簿、学事報告（本校に統合した忍路子小学校、上藻小中学校、中藻小中学校のものも含まれる）などの綴りです。余談になりますが、筆者が中学校に勤務していたとき、ご年輩の卒業生から「中学校を卒業した証明をして欲しい」旨の依頼を何度か受けたことがあり、その際に書庫などから卒業証書台帳等を出してきていたことがあります。しかし、小学校勤務ではこのようなことは未だ経験していません。さらに、並行して校長室の棚の中の書類、書庫の書類にも一通り目を通し、とは言っても表紙を見て明らかに関係なさそうなものは一切開かず、校歌の手がかりになりそうな資料を捜していきました。

結果として、いくつかの貴重な資料の存在を認識することができました。その都度、ある種の興奮を覚え、読み進みました。その中の1つが「瀬戸牛學報第拾五號 特輯二十五周年記念記事 昭和11年3月22日発行」という冊子です。この1ページ（写真）に校歌の楽譜と歌詞が掲載されています。これによると、本校の校歌は、昭和9年に制定されています。そして、現在の校歌とは歌詞の一部が違います。以下、転写します。

一 朝日に映えてそびえ立つ 札滑岳の雄々しさよ

麓の路は多けれど 同じ高嶺に辿りなん

(多くとも) (登るなり)

二 四方の翠巒影うつす 興部川の流れこそ

(緑の)

くめども盡きぬ人の世の 智徳の泉の象徴なれ

(まことの泉のしるしなり)

三 夕の空に輝ける 北極星を仰ぎては

おほみをしへを偲びつつ 赤子の覚悟固めばや

(清き教えを) (平和の道をきずくなり) 注) ()内は現在の歌詞です。

さて、「瀬戸牛學報第拾五號」などの資料からは様々なことを読み取ることができます。今後は、そのことについても報告していきたいと思えます。(校長 池原 英二)

